

京都府生協連ニュース

＜第55回通常総会特集＞

2008年7月15日・No.70(通算136号)

京都府生活協同組合連合会

京都市中京区烏丸夷川東南角せいきょう会館2階

TEL. 075-251-1551

FAX. 075-251-1555

第55回通常総会開催

～全議案を可決・承認、総会アピールを採択～



6月10日(火)、登録会館で開催しました。

＜お二人の来賓からご祝辞をいただきました＞



開会のあいさつをのべる
小林智子会長理事



京都府山田啓二知事代理
京都府府民生活部部长 園田能夫さん



京都労働者福祉協議会会長
木村幹雄さん

京都府生協連第55回通常総会報告

6月10日(火)午後1時30分より、登録会館で、「京都府生活協同組合連合会 第55回通常総会」を開催しました。

今総会の代議員総数は41人で、当日の出席は本人出席36人、委任出席1人、書面出席4人でした。

来賓および理事・監事・オブザーバーあわせて、90人の参加となりました。

小林智子会長理事が開会のあいさつをのべ、つづいてご来賓の京都府府民生活部部長 園田能夫さん(京都府山田啓二知事代理)、京都労働者福祉協議会会長 木村幹雄さんから、ご祝辞をいただきました。

オブザーバーとして、日本生協連関西地連事務局元山

鉄朗さんはじめ、11人の方にご参加いただきました。地元選出の国会議員、京都府議会議員、京都市長、各関係団体、各生協などからいただいた76通の祝電・メッセージをご紹介します。

小峰耕二専務理事が、9号議案をのぞく第1～第10号までの議案を一括提案し、新堀悟史監事が監査報告を、佃 政治監事が第9号議案の提案をおこないました。

13人の代議員・オブザーバー・理事から発言がありました。

さいごに、総会アピール「大きく変化する情勢について認識を深め、生活協同組合として よりいっそうの社会的責任をはたしましょう！」を採択しました。



議長の亀井 励さん
(京都医療生活協同組合)



議案の提案をする小峰耕二専務理事



監査報告をする
新堀悟史監事



9号議案の提案をする
佃 政治監事

<祝電・メッセージをお寄せいただいた方がた> (順不同・敬称略)

自由民主党衆議院議員
自由民主党衆議院議員
自由民主党衆議院議員
自由民主党衆議院議員
民主党衆議院議員
民主党衆議院議員
民主党参議院議員
民主党参議院議員

いざわ 京子
清水 鴻一郎
中川 泰宏
山本 ともひろ
泉 ケンタ
山井 和則
福山 哲郎
松井 孝治

日本共産党衆議院議員
日本共産党参議院議員
京都府議会議員
京都市長
京都府社会福祉協議会会長
京都市社会福祉協議会会長職務代理
京都商工会議所会頭
J A京都中央会会長
京都府漁業協同組合連合会代表理事会長

穀田 恵二
井上 さとし
家元 丈夫
門川 大作
立石 義雄
原 健
立石 義雄
中川 泰宏
佐々木新一郎

■全議案が可決・承認されました

提案された11の議案について、1～10号の各議案は満場一致で可決・承認されました。11号議案 役員選挙については、立候補者数が定数内であったため、役員選挙管理委員会の波多野委員長より、定款と役員選挙規約にもとづき全員を無投票当選とする旨が報告されました。

議案	賛成	反対	保留	合計
第1号議案 第10次中期計画決定の件	40	0	0	40
第2号議案 2007年度 活動報告・決算報告承認の件	40	0	0	40
第3号議案 2007年度 剰余金処分案承認の件	40	0	0	40
第4号議案 2008年度 活動方針・活動計画および予算決定の件	40	0	0	40
第5号議案 2008年度 役員報酬限度額決定の件	40	0	0	40
第6号議案 定款の一部変更の件	40	0	0	40
第7号議案 役員選挙規約廃止と役員選任規約設定の件	40	0	0	40
第8号議案 役員報酬規約の名称変更をとまう一部変更の件	40	0	0	40
第9号議案 監査規約の名称変更をとまう一部変更の件	40	0	0	40
第10号議案 議案決議効力発生の件	40	0	0	40
第11号議案 役員選挙				

※出席代議員の合計41人（本人出席36 委任出席1 書面出席4）、うち議長1人は採決に参加せず。

【京都府生協連2008年度役員体制】（7月10日現在） *は今回、新任

<会長理事> 小林 智子（京都生協理事長）	金谷 薫（全京都勤労者共済生協専務理事）
<副会長理事> 中森 一郎（京都大学生協専務理事）*	酒井 克彦（立命館生協専務理事・池坊学園生協専務理事）
<専務理事> 小峰 耕二（京都生協常務理事）	佐々木 郁子（生協生活クラブ京都エル・コープ理事長）*
<常任理事> 今西 静生（京都府庁生協専務理事）*	高田 艶子（員外）
沼澤 明夫（大学生協京都事業連合専務理事）	田中 弘（京都医療生協専務理事）
<理事> 栗飯原 利弘（龍谷大学生協専務理事）	廣瀬 佳代（員外）
右近 裕子（員外）*	三宅 智巳（同志社生協専務理事）
大塚 正文（京都橋学園生協専務理事）	行松 龍美（やましろ健康医療生協専務理事）*
小野 留美子（乙訓医療生協専務理事）	<監事> 末廣 恭雄（京都府医大・京都大生協専務理事）*
笠谷 敏子（京都生協常任理事）	羽賀 省二（京都教育大学生協専務理事）*
	眞柄 征市（乙訓医療生協理事）*

【理事・監事を退任されたみなさん】（順不同）

<理事>

平 信行さん・中本式子さん・吹田知久さん・松浦順三さん
 小山敏子さん・佐藤京子さん・羽賀省二さん

<監事>

新堀悟史さん・佃 政治さん・島田 浩さん



退任理事を代表して平 信行さんがあいさつをのべられました。

■ 13人の代議員・理事・オブザーバーから発言がありました

当日は、13人の代議員・理事・オブザーバーから、食の安全・くらしの安心、大学生協の活動、医療制度改革と経営への影響、平和の取り組みなどについて活発な発言がありました。これらの発言をふまえ、小峰専務理事は「この1年の多様な活動について報告をいただいた。これらをしっかりと受けとめ、みなさんがたといっしょに連合会の活動をすすめてまいりたい」とのまとめをおこないました。

【総会発言の要旨】

1 京都橘学園生協 高松 農 オブザーバー

「京都橘学園生協の学生の活動について」



現在、さまざまな組織委員会を結成し活動を行っています。カフェ委員会ではどうすれば売上げが上がるかを検討しながら季節メニューを提案したり、エスニックフェアを開催したりしています。ほんや倶楽部では読書マラソン大賞を实

施したり、PC サポーターは PC 講習会を開く等々の活動をしています。

07年度は生協創立30周年の記念イベントを全組織委員会で取り組みました。ロゴマークを作成、生協の発行物にプリントすることも提案しました。

月1回の組織委員会を今後も継続的に開催して、組織どうしの関わりを持ち、みんなで一体となって生協活動を盛り上げていきたい。



2. 生協コープ自然派京都 柴垣千春 代議員

「コープ自然派京都の活動」



2007年10月より事業開始した新しい生協です。設立半年ですが、総代100名で第1回の総代会を終えることができました。京都の地域は生協に対する理解が高いと感じています。歴史ある京都の地で

コープ自然派京都はスタートしたばかりですが、そのなかで国産派宣言、日本の農業を守ろう、食料自給率アップを旨とするという理念のもとに京都で活動をすすめていこうと思っています。

事業構造改革をすすめ、長期に安定した事業運営をめざし、取り組んでいきます。



3. 生協エル・コープ 山谷恵子 代議員

「事業活動と組合員参加」



2007年6月、生活クラブ連合会に加盟。北海道から大阪まで30万人の組合員が活動しています。

食料自給率アップをめざして事業活動を行っています。その取

り組みの一つとして最近話題にもなっていますが、飼料米で豚を生育しています。そうした国内循環型の取り組みをすすめています。

秋からはエル・コープ独自の仕組みで、自分たちの身近な助け合いとしてCO-OP 共済の取り組みを行っています。

4. 京都大学生協 水嶋周一 オブザーバー 「無料のままでレジ袋削減」



京大生協では、事業体として環境負荷を減らすため、組合員の意識をアップさせることを目標に活動しています。2005年からレジ袋削減に取り組んできましたが、なかなかすすまない状況でした。

組合員への意識を高めることを大切に、さまざまな工夫をしました。レジ袋を無くすことをよびかけたポスターを

作ったり、レジでの袋詰めを取りやめ、希望者のみにレジ袋を配布するように切り替えました。数値目標を使用率10%とし、未達成の場合は有料化することとしました。結果、実施7カ月後08年5月には5.7%まで削減することができました。

熱心な議論、数値の公表、ひとことカードを通して意見をもらうなど、京大生協の役職員との連携で取り組みました。

今後もレジ袋をもらわない習慣をつけていくことを大切にしていこうと思います。



5. 京都府立医科大・府立大生協 笠井宏規 代議員 「府医大・府大生協の三大ニュース」



府医大・府大生協の三大ニュースのひとつは、病院購買部が4月にリニューアルオープンしたことです。事前アンケートの声に応え、リニューアル後は車椅子の患者さんの利用のために通路幅を広くし、商品棚を低くしました。教職員の昼食購入時の混雑を解

消するためにレジ増設を行い、京丹後市の提携ブランドのコーナーも設置しました。

2つめは毎年実施している、府医大・府立大の新入生歓迎の「お花見ハイク」の参加者が過去最高になったことです。「先輩の話が聞けてよかった」「たくさんの友達ができてよかった」と好評でした。

3つめは府立医大の食堂「ポレポレ」と「ポレポレ」で作って病院購買部で販売しているお弁当に京丹後市のお米「特A・コシヒカリ」を使用したことです。病院購買で取り扱いシールを貼りアピールしています。

これからもこのような取り組みを広く知らせていければと思っています。



6. 立命館生協 武部礼子 代議員 「立命館生協が行うアスリートサポートについて」



昨年生協が行った、選手を対象とした食生活相談会のアンケート、相談内容等から見てみると、朝食を毎日食べる学生は6割でした。さらにその摂取内容をくわしく見ると、飲み物のみ、ヨーグルトのみという回答も多くありました。

ほとんどの栄養素所要量をも満たしていない状態では、高い競技力を保持し、その競

技に見合った筋肉や骨格を作り、トレーニング後や試合前の体調を整えることは望めません。

また、大学競技生活はたったの4年間であって、卒業し、社会人として活躍していくためにも、自己管理能力を身につけることは、非常に重要なことです。

選手サポートに関して各キャンパスに管理栄養士、または栄養士が一人ずつ配置されていますが、より細やかなサポートを行うためにも、生協内部の人的そして設備的体制の見直しと強化が必要です。

7. 大学生協京滋・奈良地域センター 佐藤真輔 オブザーバー 「大学生協の平和の取り組み」



大学生の平和のイメージは「戦争や核兵器のない世界」や、「ご飯が食べられる」「笑顔がある」「いきいきと生活できる」など、憲法とかよりも自分の身の回りの柔らかいイメージを持っているようです。
これまで映画鑑賞会を開いた

り、立命館大学国際平和ミュージアムや舞鶴引揚げ記念館などに足を運んで平和学習を重ねてきました。

「ハンガーバンケット」という活動もしました。これは餓えと貧困を、自分達が体験し、何ができるかを考える取り組みです。

平和活動のなかで大切にしていることは「五感を働かせる」「継続して活動する」「さまざまな人と一緒に考える」ことです。



8. 京都府庁生協 今西静生 代議員 「これからの府庁生協のすすむ道」



府内唯一の職域生協で食の安全・安心、環境、食育、災害等、職場の仲間といっしょに考えながら、おもに2つの活動をすすめています。
ひとつめは職場の班を大切に、営業活動にまわっていることです。サービス事業等の利用は生協

委員さんに情報を届け、そこを介して対応していただいています。職場の皆さんとのコミュニケーションが大切です。

もうひとつは弁当を中心にした活動です。休憩時間にゆっくりくつろいで、少しでもヘルシーな弁当を提供できるように、働く仲間を応援していきたいと思えます。



9. やましる健康医療生協 上坂光彦 代議員 「『後期高齢者医療制度』廃止・撤廃の取り組み」



後期高齢者医療制度は、75歳以上の方がすべて加入させられる制度で、特定年齢を対象にしたものは日本だけです。年金から天引きされると急な出費がある場合どうにもなりません。この先には差別医療が待っています。

医療機関には一定の範囲内でしか診療報酬が払われないなかで、十分な医療行為をおこなうことがむずかしくなっています。今年から市民検診がなくなるという状況も生まれてきています。

今後さらに改悪がすすもうとしている状況のなか、ひきつづき地域住民の生命と健康を守る取り組みをしていきたい。



10. 京都医療生協 清水武彦 代議員 「逆風のなかで健全経営の確保をめざす」



現在、眼科の一般診療とコンタクトレンズ事業と2本立ての事業活動を行っています。
現在の医療改革において、4つの診療所のうち2つの診療所が減点対象になり、今年からさらにもう一つが減点対象になり大幅な収入減となりまし

た。診療報酬も2億円減少。経営安定のために役員報酬、地代等経費削減を行い、医療内容の充実を図ることを行ってきました。

その結果、患者数が増加傾向になり、コンタクトレンズ事業も順調に伸びている状況です。

このような状況のなかで患者さんへの医療を崩壊させず、ひきつづき経営努力を行っていくことを決意表明します。

11. 乙訓医療生協 川瀬孝也 代議員 「広報誌の発行について」



乙訓医療生協は向日市に診療所があり、今年で24年目を迎えます。組合員数は昨年度6,000人にひろがりました。

現在、広報誌『青い空』を2カ月に1回発行しています。『青い空』は、「医療生協と組合員、組合員と組合員を結ぶ絆」を合言葉に発

行してきました。

「全組合員に手渡し」にこだわっています。現在493人の組合員で声をかけながら組合員を更に増やしていく手段として、手配りを推進しています。手配り率は95%です。組合員登場の記事が多いことが特徴的で、機関誌に対する愛着がよくなっています。

今後の課題として、2カ月に1回の発行を毎月でできればと思っています。



12. 京都府生協連 高田艶子 理事 「京都府生協連の男女共同参画の取り組み」



2007年度は男女共同参画委員男性比率目標30%には至りませんでした。2名の男性が増えて大きく前進しました。

委員会を4回開催し、活動の方向性と課題について協議し、第2次中期計画を作成して、すすめて

きました。現在、5会員生協のヒアリング調査に向けて準備をすすめています。

JA女性協と生協役職員の懇談会は、10年目の節目として「食育、食農教育」をテーマに交流の場を持ちました。2008年度は会員生協ヒアリング調査の結果を、フィードバックすることなどに取り組んでいきます。



13. 京都生協 渡辺明子 代議員 「生協があつてよかった、思いが広がるように」



07年度の京都生協の通常総代会ではすべての議案が可決されました。しかし、組合員や職員の信頼を損なう商品事故や組織問題が起り、総代からは厳しい意見も出されました。一方で「マスコミに流されることなく食やくらしのあり方を見直し、賢い消費者になりましょう」など、情勢や経過を冷静に受け止めた総代意見もいくつかありました。

組合員活動においては「組合員の参加」がよりいっそう広がることをめざしました。無店舗事業での試食とおしゃべりの『場』の提供として「おしゃべりパーティ」に2万7,000人が参加しました。

「このパーティでお互いの仲がぐっと近づいたように思います。このような企画をしてくれた生協さんに感謝です」の声をたくさんいただくことができました。「喜んでいただけた」ことにまず価値があったと思っています。今後の生協の運営にいろいろなヒントや気づきがありました。

店舗事業では4つの閉店し、3つの新規出店を行い、店舗事業の健全化をすすめました。

多くの生協が力をあわせて組合員の豊かなくらしを応援できるように、そしてたくさんの組合員に「私たちのくらしに生協があつてよかったね」といってもらえるように08年度も元気にやっていきましょう。

■ 総会アピールが採択されました

総会アピールは、三宅智巳理事が提案し、全体で確認しました。



京都府生活協同組合連合会第 55 回通常総会アピール

大きく変化する情勢について認識を深め、生活協同組合として よりいっそうの社会的責任をはたしましょう！

いま私たちのくらしが大きく変わろうとしています。

温暖化による異常気象や洪水・台風などが年々頻発するようになり、地球環境を守る課題は緊迫したものになっています。国際的な投機マネーによる原油・穀物などの価格高騰は、発展途上国の食料危機を発生させるとともに、わが国においても食料品・燃料などの必需品の値上げラッシュとして、消費者・農漁業者・中小自営業者のくらしと営業を直撃しています

また、「構造改革」の名のもとに、雇用制度や医療・年金・福祉の全面にわたる社会保障制度の改悪がすすみ、4月からはじまった後期高齢者医療制度は、とりわけ年金暮らしのお年寄りにきびしい負担をしいています。「ワーキング・プア」や「ネットカフェ難民」という言葉にあらわされるように、「格差と貧困」問題はますます重大化し、生存権を脅かす事態が進行しています。消費税率アップへむけての動きも、先行きの不安を増加させています。

このようななか、昨年5月、制定以来59年ぶりに生協法が改正され、今年4月から施行されました。生協はこんにち、全国で2400万人の組合員が参加する日本最大の消費者組織として成長・発展しています。食の安全・安心の課題をはじめ、医療や社会保障、環境などの分野においても消費者の権利が十分に確保され、一人ひとりが平和で幸せな生活を築くことのできる社会の実現のために、生協がはたすべき役割と期待は大きなものがあります。改正生協法の理念をしっかりと受けとめ、適正な組織運営の確立とよりいっそうの社会的責任をはたしていくことがつよくもとめられています。

本日、京都府生活協同組合連合会は第55回総会を開催し、京都における生協への加入組合員数が66万9500人を数え、地域・学園・職域・医療・共済などの多くの分野で、旺盛な事業と活動をすすめていることを確認しました。

変化する世界と日本の情勢について認識を深めながら、協同組合としての組織特性にふさわしい事業と活動を推進し、組合員のねがいにこたえていきましょう。そして、地域社会の一員として、さまざまな団体・個人と手をつなぎ、連帯の輪をひろげていきましょう。

2008年6月10日
京都府生活協同組合連合会